

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
408	英語学特殊研究 <Specialized Studies in English Linguistics>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
英語学	大室 剛志(OMURO Takeshi, TANAKA Tomoyuki)・田中 智之		後期	火曜：5限
講義題目 Title	現代英語学			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	英語学専攻の大学院生に限る。			
授業の目的 Purpose	<p>受講生の研究テーマに関わる先行研究を概観しながら、修士論文の完成につなげてゆくことを目標とする。人文学の修士論文を書くための授業なのであるから、当然、来るべき時代と歴史に対する深い洞察力を持ち、言葉による論理的表現と研究推進を行う創造的能力によって、人文学の伝統を継承し発展させる意欲的な人材を育成する一助となることを目的としている。また、当然、人間精神の中核をなす言語の研究の修士論文作成につなげる授業であるから、人文学の知の伝統に対する探求心と新時代への深い洞察力と言語による表現力を培うことになる。</p> <p>The purpose of this course is to help students to have success in writing their MA theses of English linguistics, over-viewing previous studies concerning their themes. This course, which is for assisting students to write MA theses concerning language constituting a central part of human mind/brain, of course, leads to developing their deep insight on the history and future of human sciences and to getting students to acquire an ability to inherit the intellectual tradition of human sciences and develop them, through the brushing up of their logical linguistic expressions and their creativity of developing human sciences further.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	受講生が毎週1人ずつ、各自の研究テーマに関連する論文を読んで口頭で発表する。コメンテーターによる要約、質問、コメントに引き続き、論文の内容について全員で検討する。他の受講生も積極的に質問やコメントをすることにより、発表者の研究の進展に貢献し、自分の研究との関連性を発見する機会として十分に活用すること。			
教科書 テキスト Textbooks	特になし。			
参考書 References	選んだ論文で引用されている文献。その他については適宜紹介する。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	選んだ論文を精読し、口頭発表のためのハンドアウトを準備する。また、コメンテーターを前もって指名し、質問やコメントの内容について十分に打ち合わせをする。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	口頭発表（50％）、学期末のレポート（40％）、授業への積極的参加（10％）			
連絡方法 Contact information	オフィスアワーに来るか、tanakat@lit.nagoya-u.ac.jpかomuro@lit.nagoya-u.ac.jpで時間を相談し、研究室に来ること。			